

レジリエント経営

埼玉産業人クラブは11月11日、ロイヤルパインズホテル浦和(さいたま市浦和区)で「第46回埼玉県産業振興懇談会」を開いた。統一テーマは「持続可能な企業成長を目指すレジリエント経営戦略」。地震や豪雨などによる災害が多い日本の状況の中で、埼玉県内企業の経営幹部4人が自社の事業継続計画(BCP)やサステナブル(持続可能)な成長に向けた取り組み、レジリエント(回復力のある)経営の重要性などを参加者に訴えた。

経営幹部は語る

当社は大正3年(1914年)創業で今年110周年を迎えました。土木事業、建築事業、リニューアル事業の3本柱を中心に、グループ会社で太陽光発電事業、ゴルフ場の運営、住宅専門の古郡ホームと事業展開しています。

経営者は語る

当社はさいたま市大宮に本社を構え、1912年に創業した。さく井工事や井戸メンテナンス、地下水関連設備の工事などを手がけている。売上高は53億円、従業員数は289名。全国13事業所を展開し、海外にはネパールに現地法人を有する。帝国データバンクの調査によると、事業継続計画(BCP)策定率は全国平均で19.8%だが、埼玉は16.4%とやや低く、BCP策定が十分に進んでいないのが現状だ。南海トラフ地震が懸念される地域ではBCP策定率が高いのが特徴の一つ。例えば高知県は33.3%と最も高く、静岡県でも26.8%と高い傾向にある。埼玉県内でもBCP策定意向は47.1%で関心が高まっているものの、策定に至らない理由としては、スキルや人材不足、時間的な制約が挙げられる。

古郡建設 デザインマネジメント部長 渡辺 文昭氏

11団体と災害協定 地域インフラを守る



整備も行っていきます。緊急時に使う機材や食品も賞味期限を必ずチェックしてローリングストックすることも毎年行っています。

事業継続、ブランディングで相乗効果

中小企業にとってBCPの策定は経営の安定化につながると感じています。安全に安心して働いてもらえ、環境、ステークホルダーにも安心して仕事を任せてもらえる環境を整えることで、経営資源を守ることにつながっていくと思います。逆に事業継続能力に不安があると、ス

【企業データ】
①1914年②1億③総合建設業④埼玉県深谷市稲荷町2の10⑤048・573・311

- 企業データ
- ①設立年
- ②資本金
- ③職種・事業内容
- ④本社所在地
- ⑤電話

日さく 社長 若林 直樹氏



「守りの防災」から「攻めの防災」へ

新たな知見取り入れBCP改善

井戸は災害時には生活を支える水源にもなる。関東大震災を契機に地下水の重要性が再認識され、はからずも、さく井の安全性と必要性を世間に認めさせる結果となった。実際、東日本大震災後には90.6%、熊本地震後には92.5%の井戸が破損せず使用可能であった。このことから、井戸は災害時でも重要な水源であることが明らかになった。

【企業データ】
①1908年②1億③さく井工事・特殊土木工事・地質調査など④さいたま市大宮区桜木町4の1099の3⑤048・644・3911



一滴でも多くの水を、一人でも多くの人へ

創業明治45年
株式会社 日さく
WATER&GEO-TECH ENGINEERS, NISSAKU



水に関わる取り組み



- ・創立以来、天然資源の1つである地下水の保全と持続的な利用に携わっています。
- ・海外の水道未普及地域での地下水開発事業を通じて、国際貢献の役割を担っています。
- ・水循環の健全性確保を追求し、それを維持すべく「地下水の上手な使い方」を推進しています。
- ・地下水取水後に地下へ還元することや、排水再利用技術の普及を図っています。
- ・社員一人ひとりが「水の大切さ」を心に留め、節水に取り組んでいます。

県内中小企業の経営戦略を支援

第46回埼玉県産業振興懇談会

日さく 若林直樹社長
BCCP策定済みの企業
においては、策定後に空
洞化し、十分に機能して
いない場合は改善が必要
となります。県で優れた
取り組みを実施している
BCCP策定中小企業の事
例を紹介してほしいとい
います。また県が「中小企
業BCCP優良取組事業所認
定制度」を設けてBCCP
の意識を高めてほしいと
います。



埼玉県産業振興公社
理事長
神田 文男氏



日さく 社長
若林 直樹氏

優れたBCCP取り組み事例

中小企業のBCCP策定機運を醸成 アドバイザーが無償で支援

業のBCCP策定率は全国
と比較して低いのが現状
です。そこで埼玉県産業
振興公社では3人のBCC
Pアドバイザーを配置
し、中小企業のための簡
易版BCCP「事業継続力
強化計画」の策定支援を
実施し

無償実施しています。う
ち12の支援事例をホーム
ページで紹介していま
す。「事業継続力強化計
画」の認定期間は最長3
年で、さまざまな優遇措
置を受けられます。ただ
経営環境の変化への対応
が必要のため、現在は3
年前に策定した企業に対
し、計画のアップデート
の支援が必要ないかを問
い合っています。今後
アップデート事例も生ま
れるでしょう。また当公
社は国土交通省版のBCC
Pや中小企業庁版のBCC
Pも有償で策定や、アッ
プデートの支援を実施し

簡易版BCCP策定支援 12事例を公開



産業支援課長
神野 真邦氏

若林氏 昨今の発災後
の当該地域の状況を見る
と、BCCPを機能させる
ことに関し単独企業のB
CCPで対応可能な範囲を
超えています。今後は同
じ地域の企業間の連携が
必要で、地域連携BCCP

産業支援課 神野真邦
課長 「中小企業BCCP
優良取組事業所認定制
度」はBCCPを策定した
企業のうち、実効性を高
めるために実施している
優れた取り組みを認定す
ることで、BCCP策定の
機運を高めるものと認識
しています。一方、県の
BCCP策定率は全国比で
低いため、現在は企業に
対してBCCPへの意識を
高める取り組みに注力し
ています。

「連携事業継続力強化計画」認定事例を紹介

への取り組みが急務で
す。単独では対応できな
い課題の解決に向けて、
情報共有、相互支援など
の体制を構築できます。
ご検討をお願いします。
神野課長
災害発生時に
は地域企業同
士の連携、サ
プライチェーン
での連携な
どを通じ、事
業を継続する
ほいで



埼玉県産業振興懇談会は11月11日に「第46回埼玉県産業振興懇談会」を開き、企業経営者と埼玉県幹部が意見交換した。「持続可能な企業成長を目指すレジリエント経営戦略」をテーマに、経営者からは事業継続計画(BCCP)やサーキュラーエコノミー(循環経済)、M&A(合併・買収)戦略、人手不足への対応策などの意見・質問が相次いだ。これに対し埼玉県は、支援策や複数の実績を示した。埼玉県は今後も企業と連携し、さまざまな施策に取り組む姿勢を示した。

社会課題の解決・企業成長 両立を応援

46回目の開催となった
埼玉県産業振興懇談会
は、4人の経営者が各社
の取り組みBCCPなどに
ついて講演。その後、埼
玉県幹部らと意見交換を
した。
目良産業労働部長
は、意見交換の冒頭、あ
いさつを結んだ。
また、「企業の目指す
べき方向性は時代ととも
に変わります。現在の世界
の潮流はESG投資や、
SDGs(国連の持続可
能な開発目標)のもと、
社会課題の解決と企業成
長の両立が求められてい
るのではないかと指
摘。「課題があるところ
にはビジネスチャンスが
ある」と強調した。埼玉
県は2025年7月にイ
ノベーション創出の拠点
「渋沢MIX」をさいたま
市内に設置する計画
だ。こうした拠点などの
活用を呼びかけ、「社会
課題の解決と企業の成長
の両立を応援していきたい」とし、あいさつを結
んだ。



埼玉県産業労働部長

目良 聡氏

- 【産業界】**
日さく社長
古郡建設社長
日本伸管社長
サン精密化工研究所社長
- 【埼玉県】**
産業労働部長
産業労働政策課長
産業支援課長
産業創造課長
雇用労働課長
産業技術総合センター長
産業振興公社理事長
- 【司会】**
日刊工業新聞社さいたま総局長
- 若林 直樹氏
古郡 栄一氏
細沼 直泰氏
村上 守氏
- 目良 聡氏
内田 貴之氏
神野 真邦氏
坂入 康昭氏
高橋 利維氏
福田 保之氏
神田 文男氏
- 松之舎 茂喜

パネルディスカッション参加者

専用工作機械、マシニングセンター搭載治具の製作お任せください。
長年の実績と技術でお客様のニーズにお答えします。社員募集中です。

専用工作機械一例

- 100×200角パイプ 角度自在切断機 (自動供給装置付き)
- 小型門型マシニングセンター X:1500×Y:800×Z:550 各軸ストロークオーダー承ります
- ロボットを使用した面取機
- 精密切断機 例:L260→L40±0.1

ニーズにあわせてカスタマイズ
・ローラーギヤカム加工機、研削盤
・NC制御切断機
・インデックスマシン
・ガンドリルマシン
・オリジナルマシニングセンター(長ストローク可)
・マシニングセンター用 治具
・各種スピンドル、スライドユニット
・OEM生産承ります

H 株式会社ヒガシ 埼玉県鴻巣市東1-4-8 〒365-0039
TEL:048(541)3060 FAX:048(542)1959 <http://www.higashi-co.com/>

川金ホールディングス
Kawakin

新たな価値の創造を
Tomorrow's Technology, Today.

川金ホールディングスグループは、素材材・免制震・産業機械の
高度な技術とグループの総合力をもって、高品質の製品とサービスを提供し、
安全で安心できる快適な生活・社会基盤作り貢献していきます。

www.kawakinhd.co.jp

Well-Being × Innovation

ワックデータサービスは、Well-Beingを重要なテーマとして捉え、会社全体で「幸せ経営」を推進しています。具体的なアクションプランを立て、社員一人ひとりが自分自身のWell-Beingを大切に、そのための支援や環境整備を行っています。これにより、社員の創造性や生産性が向上し、新たなイノベーションが生まれていくと考えています。今後も、より良い職場環境を目指し、社員の幸せとWell-Beingに注力していくことで、会社と社員の成長を促進していきます。

WAC ワックデータサービス株式会社
〒354-0018 埼玉県富士見市西みずほ台2-12-8 Tel.049-251-7777 Fax.049-254-5080 www.wacdata.com

世界のマーケットが目目!! 水を注ぐとたちまち発熱! 98℃の高温で持続
食品加熱 発熱剤
モーリアンヒートパック
東日本大震災、自衛隊でモーリアンが
威力発揮、大貢献中!

第9回埼玉ちゃれんじ企業経営者特別賞受賞
●水を注ぐとたちまち発熱 「モーリアンヒートパック」
(日・米・欧・韓に特許登録商品)
●火や電気を使わずに、いつでもどこでも水を注ぐだけで、高温の蒸気が発生し、食品等を簡単に加熱調理できる発熱剤です。
●従来品に比べてパワーアップ・軽量化に成功した発熱剤を使用しています。
●防災・アウトドア・企業備蓄・湯沸し・弁当加熱・ホテル・旅館・結婚式場・飲食店・教材用にと様々な提案が出来ます。

NEW 災害時用炊飯キット
電気・ガスなしで炊ける!

第17回中小企業優秀新技術・新製品賞
優良賞受賞!

第31回優秀経営者顕彰受賞

日本特許登録第3467729号
米国特許登録第6200357号
欧州特許登録第1126004号
韓国特許登録第0407582号

株式会社 協同
〒358-0011 埼玉県入間市下藤沢1097-1
TEL.04(2965)4221 FAX.04(2965)4302
<http://www.morians.co.jp/>
E-mail: kido@morians.co.jp
詳しいお問い合わせは、担当 佐藤 まで